

男女がともに認め合い 互いに支え合い 自分らしく生きる

事業の一部を紹介：事業No.13「母子保健施策の充実」

基本目標1：働く場において男女がともに参画し、活躍する **基本取組(1)**：働く場における男女共同参画の推進

施策の方向2：仕事と子育て・介護の両立支援

【事業内容】 乳児家庭全戸訪問や乳幼児健診などで、乳幼児の発達状況、保護者の育児不安やストレスなどを把握し、関係機関と連携して助言や支援を行います。

【事業実績】 令和3年度、乳児家庭全戸訪問、育児相談は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底して実施しました。乳幼児健診は新型コロナウイルス感染拡大により、1回のみ中止。その他は市内感染状況に応じて、実施方法を検討しながら行いました。

成果指標	基準値	実績値	目標値	判定結果	
				R3	R2
乳児家庭訪問率	97.8%	99.0%	100%	B	B
				A	C
出産後、育児に不安を抱える割合	8.5%	6.5%	7.0%	C	C
				B	C
活動指標	48回	47回	48回		
乳幼児健診実施回数	55回	59回	60回		
産前産後サポート事業 (助産師による育児相談・保育士による保育回数)					

この事業は、成果指標の「出産後、育児に不安を抱える割合」の数値が目標値を下回っていることから、前年度のC判定からA判定になっています。これは、活動指標のうち、主に助産師による育児相談の回数の増が影響していると考えられます。従来の定例相談から完全予約制に変更し、電話相談なども取り入れたことにより随時の相談に対応でき、保護者の相談の機会を増やすことができました。

また、SNSによる周知を開始したことで、講座などの参加者数増加に繋がった部署もあります。今後も、SNSの活用など、ウィズコロナ時代に合った事業のあらゆる可能性を考え、チャレンジしていきます。

【前期計画の成果】

第2次プランの4つの基本目標には、各目標を達成するための基本取組に11の成果指標が設定されています。第2次プランの計画期間（平成29年度～令和8年度の10年間）の中間年にあたる令和3年度に、前期計画の進捗状況を把握し、指標の達成状況について中間評価を実施。その結果、11の成果指標のうち、目標を達成できている指標は2つだけでした。また、5年前の現状値と比較して実績値が下がった指標は3つありました。

実績値が下がった3つの指標は、市が5年に1度実施している「男女共同参画社会づくりに向けた市民意識調査」の中で「男女の地位の平等感」について8項目で尋ねた設問および回答を基に設定したものです。直近（令和2年度実施分）と前回（平成27年度実施分）とを比較すると、回答者全体で「男性優遇」と回答した人の割合が「家庭生活の場」以外の7項目で増加。これにより、3つの指標の実績値が下がるという結果になっています。

これら3つの指標に関して、前回の市民意識調査からの5年間で、さまざまな場における男女の不平等は数値の上で改善が見られなかったと考えられます。しかし一方で、不平等な現実を認識する人が増えたと言い換えることもできます。今後も「男女の平等感」を埋めていくための施策に取り組むことが必要です。

すべての市民がお互いの人権を認め、家族や地域で支え合い、自分自身の個性や能力を発揮し、自分らしく生きられる社会の実現に向けて、引き続きさまざまな施策を推進していきます。

【主な関連指標の達成状況】

※実線…目標達成指標、点線…5年前から実績値が下がった指標

基本目標	基本取組	成果指標	現状値 (平成27年度)	目標値	実績値 (令和3年度)
1	1.働く場における男女共同参画の推進	職場で「男女の地位が平等である」と回答した人の割合	20.4%	35.0%	19.8%
	2.女性の能力をいかせる就労環境の整備	創業セミナー受講者のうち、女性の新規創業者割合	—	25.0%	25.0%
2	1.地域における男女共同参画の推進	地域活動の中で「男女の地位が平等である」と回答した人の割合	27.9%	40.0%	23.3%
3	1.あらゆる暴力の根絶及び被害者支援	配偶者等から暴力を受けた人で「誰かに相談した」と回答した人の割合	31.5%	50.0%	51.9%
4	2.学校教育等における男女共同参画の推進	学校教育の場で「男女の地位が平等である」と回答した人の割合	53.0%	70.0%	47.3%

※「第2次田川市男女共同参画プラン前期計画」全体の報告書は、男女共同参画センターゆめっせで閲覧できます。

また、市ホームページにも内容を掲載しています。

※「男女共同参画社会づくりに向けた市民意識調査報告書（令和3年1月）」は、市ホームページに掲載しています。

第2次田川市男女共同参画プラン前期計画の推進状況をお知らせします

市では、男女共同参画社会の実現に向けて、平成29年度から「第2次田川市男女共同参画プラン前期計画」を策定し、令和3年度までこの計画に基づく61の具体的施策を推進してきました。計画を推進するため、見直しや改善に随時取り組んでいます。庁内組織の「男女共同参画推進部会」や「男女共同参画推進委員会」のほか、外部組織である「男女共同参画審議会（会長：福岡県立大学井上奈美子准教授）」が評価を担っています。行政による自己評価に加え、市民目線の外部評価も取り入れ、評価結果を毎年公表しています。

各基本目標の達成状況

成果指標…実際に行う活動や提供するサービスの結果、どのような成果をどれだけあげることができるのかを表す指標
活動指標…成果を上げるために、どのような活動を行うのか、どのようなサービスを市民に提供するのかなど、行政が行う活動量を表す指標

＜進捗状況の判定基準＞

判定	判定基準
A	実績値が目標値と同じか上回る
B	実績値が基準値を上回っているが、目標値に達していない
C	実績値が基準値と同じか下回っており、目標値に達していない
—	事業未実施または市民意識調査などが未実施で評価不可のもの

※「実績値」…実際に実施した回数や人数などの数値、「基準値」…直近の現状値



【プランの4つの基本目標】

＜基本目標1＞

働く場において男女がともに参画し、活躍する
(23事業)

＜基本目標2＞

地域社会において、男女が支え合う
(6事業)

＜基本目標3＞

男女がともに健やかに安心して暮らす
(20事業)

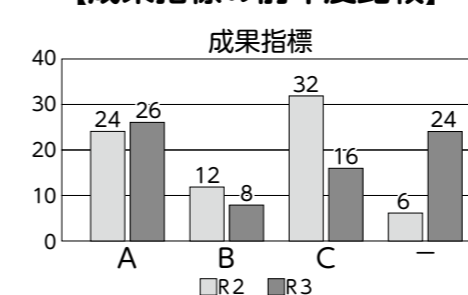
＜基本目標4＞

一人ひとりを尊重し、
男女共同参画意識が浸透する(12事業)

【基本目標1～4の判定の合計】

プラン全体（基本目標1～4）					
事業No.1～61	A	B	C	—	合計
成果指標	26	8	16	24	74
判定割合	35.1%	10.8%	21.6%	32.4%	
活動指標	56	12	18	3	89
判定割合	62.9%	13.5%	20.2%	3.4%	

【成果指標の前年度比較】



令和2年度は市民意識調査の実施年度であったため、その結果を成果指標としていたものの多くが「C」判定となりました。令和3年度は調査の実施年度ではなかったため、昨年度「C」判定だったものが「—」判定（評価不可）となっています。

